特集

～住みなれた地域でその人らしい人生を～

高齢者を地域で支えよう

高齢者の多くは、家族や、近隣の人、知人など、さまざまな人たちと関わりながら地域の中で暮らしており、いつまでもこうした人たちと住み慣れた家や地域で暮らしたいという願いを持っています。

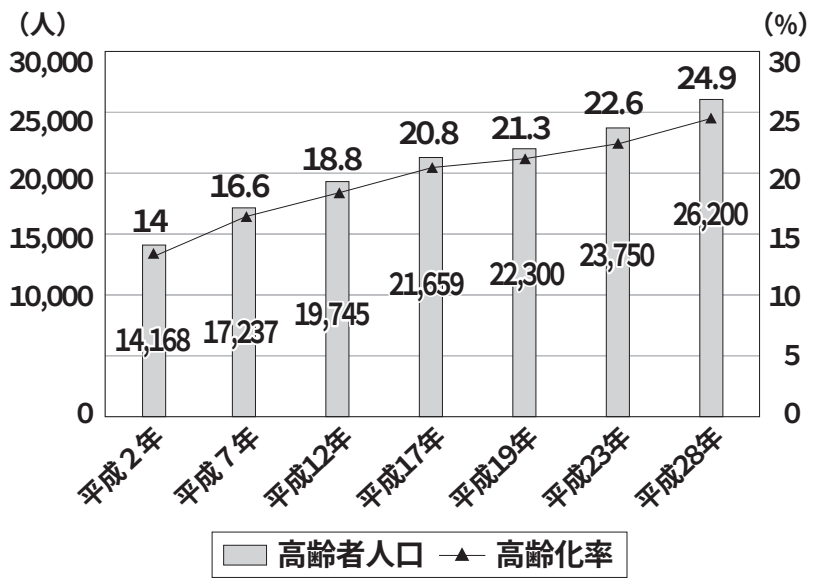
高齢者を取り巻く環境は、めまぐるしく変化していて、今後も高齢化が進み、一人暮らし高齢者（平成18年時点 1,789人）や高齢者世帯（同 1,884世帯）も更に増加するものと予想されます。

また、団塊の世代の高齢化も見込まれます。

こうした中、これからの超高齢社会を乗り切るには、市民自らが考えて取り組む“高齢者を支え合う地域づくり”が求められます。

高齢者が「このまちに住み続けたい」と思えるような、幸せな鹿沼市を目指していきましょう。

鹿沼市の高齢者人口（65歳以上の人）と高齢化率の推移と見通し



＜KANUMAステップアップビジョンより＞

鹿沼市は平成17年時点で高齢化率は20%を超えました。少子化などの影響で、今後も上昇傾向は続くと思われます。平成28年には24.9%、約4人に1人が高齢者になると見込まれています。

問い合わせ
地域包括支援センター
☎（63）2175